

3 地域が「〇〇だったらいいのに」もしくは「わがまちを〇〇したい」

【各グループからの発表】

- ・住んでよかった、子供が住めるような町がキーワード。地域の買い物が便利になることや若い人と交流したい。また、子供や若い人が明るく、元気になればいい。
- ・子供や老人も住みやすいまちにしたいという意見だった。この会場は高齢の方が多く、答えが偏るので、若い人がいれば変わったかもしれない。
- ・世代間を超えた交流の場(祖父母と孫)があればいい。高校生から大学生までの子供が活動できる団体やフィールドがあればいい。
- ・雪を処分したいという意見が多い。若者が集まるような仕組みがあればいい。高齢者を見守るために強いまちづくりをしたい。
- ・子供の遊ぶ声が聞こえるまちや防災活動がもっと活発に聞こえるまちという意見があったが、具体的には防災が先だと思う。もう少しボランティア活動が盛んになればいい。飲み屋があればいい。自動運転のモデル地区になって道路が整備されればいい。
- ・若い人が仕事に就けるような企業があれば、若い人が来て子供が増える。市内の小中学校は山から海まであるので、子供の交流をやりながら地域の勉強や地域おこしができればいい。自分の職場と家が近ければ車がいらないので、交通事故がなくなる。
- ・インフラについては融雪装置の設置してほしい。地域活動については住民の交流が活発に行われ、若い人や女性が参加するまちがいい。
- ・子供からお年寄りまで集まれる行事や場所があればいい。子供が多ければいい。高齢者の一人暮らしや冬場の除雪など弱い人を助けるまちになればいい。そのほかに異文化の人との交流、地域の活性化など。
- ・インフラの整備では、体育館を大きくすることや冬でも使える全天候型のスポーツ施設、消雪装置の整備、便利なスーパーがあったほうがいいのかという意見だった。しかしながら若者や女性はいらんないかもしれない。もっと大事なのはコミュニケーションを増やすこと。若者が定着するような仕事や施設に目を向けたほうがいいのかという意見もあった。
- ・めぐーるの利便性が上がればいい。総合病院や鉄道駅、大型ショッピングセンター、若者の雇用の場、足湯、安全な場所で海釣りできる場所があればいい。これらをたどると行政による法的な縛りを撤廃すればスムーズにいくという意見にまとまった。
- ・子育て世代が増えてほしい。子供たちが戻ってこれる故郷づくりを理念として掲げていくことで、地域行事を変えることや、コミュニティバスの本数も変わると思う。女性や子供か

ら大人が参加できる行事を増やせばいい。防災に対する考え方も深まってほしい。